

平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	新たな開発パートナーシップのためのシンポジウム開催経費		担当部局庁	国際協力局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	—		担当課室	開発協力企画室		室長 横田 敬一		
会計区分	一般会計		施策名	VI-1 経済協力				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第1項第1号(ハ)、24号		関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「第4回援助効果向上のためのハイレベル・フォーラム」(平成23年11月開催予定)の結果を受け、新たなパートナーシップ構築の一環として、最近、南南協力の形で対外援助を増加させている中国等を含めた新興ドナーを巻き込み、多様なアクターが参加するシンポジウムを開催する。同シンポジウムにおいては、効果的な開発援助のあり方について、多様な開発アクターの間で意見交換し、MDGs達成に向けた包括的なアプローチについて国際援助コミュニティに対し提言を行う。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	シンポジウム等の開催経費							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	—	—	—	—	5	
		補正予算	—	—	—	—		
		繰越し等	—	—	—	—		
		計	—	—	—	—	5	
	執行額		—	—	—			
	執行率(%)		—	—	—			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (24年度)
	成果目標: 多様な開発アクターの参加 成果実績: 参加する開発アクターの種類(伝統ドナー、新興ドナー、市民社会組織、民間セクター、国際機関の5つ)		成果実績 種類数	—	—	—	5	
			達成度 %	—	—	—		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	シンポジウム1件の開催		活動実績 (当初見込み)	—	—	—	—	—
単位当たり コスト	(円/)		算出根拠	平成24年度よりの新規要求のため、活動実績が示せないことから、算出不可。				
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	謝金	0	1,997					
	シンポジウム開催雑費	0	1,000					
	招へい費	0	2,088					
計	0	5,085						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	－	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	新興ドナー等、新たな開発アクターの台頭を踏まえた「第4回援助効果向上のためのハイレベル・フォーラム」の結果を受けて、開発に関する新たなパートナーシップ構築のための一環として開催するシンポジウムのための経費。近年、影響力を増大させている中国を含めた新興ドナーを巻き込み、多様なアクターの参加を得て、新たな援助潮流の中で、共通の国際目標に向けた包括的なアプローチについて議論する。		
予算監視・効率化チームの所見			
		事業について精査した結果、一部事業の縮小	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			